

アイデア光る、売り場づくりを競う

JA直売所POP陳列甲子園

JA全農かながわは2月1日から28日まで、JA直売所の売り場づくりを陳列やディスプレイで競い合うコンテスト「JA直売所POP陳列甲子園」を開催した。県内9JA・12店舗がエントリーし、副店長と売り場スタッフが商品選定や陳列、販促物作成に励み、魅せる売り場づくりに創意工夫を凝らした。

このコンテストは県内では初の試みで、外出自粛で需要が拡大している加工食品の売り場を盛り上げ、売上アップにつなげるとともに、副店長が主体となって取り組むことでマネジメント力やリーダーシップを習得しようというもの。

審査員は各店舗の店長が務め、陳列方法やPOPの見やすさや商品訴求力、売上点数などを審査した結果、大型陳列部門で最優秀賞に「セレサモス宮前店」が、優秀賞に「はだのじばさんず」が輝いた。小型陳列部門では最優秀賞が「セレサモス麻生店」に、優秀賞が「朝ドレファ〜ミ♪ハルネ店」へ贈られた。

最優秀賞を受賞した「セレサモス宮前店」の山田真副店長は、「手作りのマップで県内JA直売所やオリジナル加工品を紹介し、自宅での食事を楽しんでもらおうとカレーや菓子類などを中心に配置した。手探りながらもスタッフ全員で考える良いきっかけとなったので、今後活かしていきたい」と話した。



「セレサモス宮前店」店頭の「楽しく食べたい」につなげられるような商品情報マップと陳列品



表彰式後に今後の取り組みを発表し合った各直売所の副店長

表彰式同日に開催された副店長会議では、グループごとに分かれて現場の課題や優良事例を共有し、今後のより良い店舗運営に向けた取り組みを発表し合った。

JA全農かながわは県内JA直売所の活性化に向け今後も研修開催や情報提供等で支援していく。

JAグループかながわTAC・担い手担当者パワーアップ大会 優良事例発表3人を表彰

JA全農かながわは、県内のTAC・担い手訪問活動の優良事例や課題を共有し、相互研鑽を図ろうと、2月24日、「JAグループ神奈川TAC・担い手担当者パワーアップ大会」を開催し、9JAのTAC・担い手担当者が訪問活動による成果を発表した。

新型コロナウイルス感染対策のため当日は発表者のみが一室に集まって発表を収録し、各JAのTAC担当課長や中央会、全農など12人の審査員は後日送付された動画を見て審査した。担い手への提案内容や地域貢献への効果、プレゼンテーション力を厳正に審査した結果、JAあつぎ・山本宏衣氏、JAセレス川崎・鈴木龍之介氏、JAはだの・栗原大和氏の3人が最高賞であるTAC表彰に輝いた。山本氏は業務用キャベツの新規参入支援による遊休農地解消と生産基盤確立について、鈴木氏は枝豆抑制栽培の普及と生産振興について、栗原氏は秦野産小麦の生産振興と販路拡大について発表した。

審査長を務めた真壁勇男農産部長は、「コロナ禍にあってもTAC担当者は担い手と向き合い、課題解決や地域の農業振興に取り組むなど持続的に営農活動を支援している」と評価した。



(後列左から) よこすか葉山・逆井直基氏、さがみ・高橋賢人氏、かながわ西湘・木村正泰氏、セレス川崎・鈴木龍之介氏、はだの・栗原大和氏
(前列左から) 湘南・城所尚美氏、神奈川つくい・角田恵子氏、あつぎ・山本宏衣氏、横浜・大澤あおい氏

運搬一輪車自動化キット「e-cat kit」実演会を実施 傾斜地でも楽々運搬

JAかながわ西湘とJA全農かながわは3月24日、運搬一輪車を電動化するキット「e-cat kit」の実演会を同JA山北営農経済センターで行った。

「e-cat kit」は農家が利用する手押し一輪車を電動化できるキットで、運搬作業をより迅速に軽労化できる。柑橘や梅などの栽培農家を中心に傾斜地や段々畑などの移動条件が悪い場所での肥料や収穫物の運搬で利用されており、実演会は同JA管内の柑橘農家からのリクエストを受け、同JA山北営農経済センターが企画した。



取付簡単な「e-cat kit」



キットを取り付けた一輪車を試す生産者

実演会ではメーカー担当者による説明のもと、参加者はキットを取り付けた一輪車に80キロの肥料袋を積み、登坂で運んだり、アクセルレバーでスピード調整したりしてその機能性を確かめていた。「山間地など傾斜地での収穫作業が楽になりそう」「発動機よりも安く、メンテナンスが楽なのが魅力」などと好評だった。

商品に関するお問い合わせはJA全農かながわ生産資材課（0463-53-1569）まで。

ファミリーマートで神奈川県産「湘南ゴールド」

東京・神奈川エリアで限定販売

コンビニ大手の(株)ファミリーマートとJA全農はファミリーマート店舗における国産農畜産物の販売拡大に向けて、神奈川県産「湘南ゴールド」を4月6日から4月10日まで東京都と神奈川県内の423店舗で数量限定にて販売した。

1袋250g入を418円（税込）で販売すると、各店舗では「自宅近くのコンビニで湘南ゴールドが買えるなんて」「一度食べてみたかった」などと好評だった。

(株)ファミリーマートとJA全農は、業務提携を契機に店舗での青果物販売を目指すこととしており、今回の取り組みはそのモデルケースの一つとして開始したものである。JA全農の営業開発部と神奈川県本部が共同で窓口となり、県内有数の柑橘産地であるJAかながわ

西湘から湘南ゴールドを供給した。

今後、JA全農では、コンビニでの青果物販売による地産地消の促進や農業生産拡大を目指し、他の地域での展開も検討する。さらに、全国のJAと連携し、地域の特産物やその加工食品など、新たな商品の販売も視野に入れつつ可能性を探るとしている。



芳醇な香りと甘さが人気の湘南ゴールド